著名工事視察の手引

七月調査

本欄は次の順序に配列掲載します。❶工事名及位置❷工事概要及特長❸工事用設備❹現狀❺設計及監督主任❻現場主任及請負者❼工期❽視察道順及附近名所❾其他。

樺　　太

道　路

❶大泊中知床岬線長濱遠淵間道路砂利敷工事（自長濱郡長濱村大字長濱至同郡遠淵村大字遠淵）❷砂利敷3,807立米、不陸均104,596平米、輾壓115,846平米❸❹❺樺太廳內務部土木課八卷技師❻直營、餌目雇員❼100日。

❶大泊中知床岬線彌滿札塔間道路道路砂利敷工事❷碎石敷893立米、盤屑敷2,980立米、砂利敷296立米不陸均64,553平米、輾壓64,533平米、崩土取除6,400立米❸❹❺樺太廳內務部土木課八卷技師❻直營、保田雇員❼100日❽大泊町より自動車の便あり。

❶大泊富內線大泊富內間道路修繕工事（自大泊郡大泊町大字大泊字旭町4丁目至富內郡富內村大字富內字富內❷❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻直營、川上技手❼150日❽大泊驛下車自動車の便あり。名所富內湖近し。

❶大泊市街道路改良工事（大泊郡大泊町大字大泊）❷アスファルト簡易鋪裝延長299米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻直營、戸田技手❼120日。

❶豐原市街道路修繕工事（豐原郡豐原町大字豐原）❷砂利敷2,344立米、鋪裝修繕3,460平米、普通土切取1,001立米、搔均760平米、❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻直營、勝山技手❼120日❽樺太神社、旭ケ丘ジャンプ臺、豐原公園、舊市街。

❶豐原大澤間及豐原市街路道鋪裝工事（豐原郡豐原町）❷アスファルト簡易鋪裝15,600平米、基礎築造9,000平米、運搬盛土4,534立米、普通土切取1,781立米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻❼200日。

❶落合上美保間道路砂利敷工事（榮濱郡落合町）自大字落合字落合至大字上美保字上美保❷砂利敷7,041立米、碎石敷1,554立米、輾壓65,153平米、盛土1,200立米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻新野技手❼150日❽東海岸線落合驛下車、王子製紙落合工場あり。

❶大泊國境線內路國境間道路改良工事（自敷香郡內路村大字內路至同郡敷香町大字半田）❷不陸均325,380平米、砂利敷7,290立米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻關根雇員❽樺太鐵道新問驛下車自動車にて內路に至る。國境。

❶落合上美保間道路開鑿工事（榮濱郡落合町大字自川北字川北至上美保字上美保）❷延長4粁240米、造成幅4.5米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻新野技手、請負平澤弘美氏❼180日。

❶內路惠須取線內路口第二工區道路開鑿工事（敷香郡內路村大字內路字內路澤地內）❷延長6,096米、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻小笠原技手、請負佐々木勝造氏❼230日。

❶多蘭內大豐間第一工區道路開鑿工事（留多加郡三郷村大字多蘭內字自多蘭內濱至上多蘭內）❷疎林伐開7,200平米、拔根5,120平米、草原伐開45,87平米、搔均9,120米、普通土切取1,691立米、盛土1,460立米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻直營、堀川技手❼150日❽南樺鐵道留加多驛下車、自動車にて多蘭內に至る。

❶大豐遠節線大豐遠節間道路砂利敷工事（自留多加郡留多加町大字河西字大豐至本斗郡本斗町大字遠節字本斗、安別線分岐點）❷不陸均110,645平米、砂利敷6,6 0立米、碎石敷637立米、盤屑敷456立米、土芻修築1,726立米、崩土取除456立米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻直營、佐藤技手❼150日。

❶大豐遠節線上大豐地內道路砂利敷工事（留加多郡留加多町大字河西字上大豐地內）❷碎石敷989立米、延長6粁❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻佐藤雇員❼120日。

❶本斗西能登呂岬線本斗南白主間道路改良工事❷不陸均99,750平米、下水浚渫3,066立米、路肩下420立米、盤層敷10,163立米、崩土取除1,080立米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻古屋雇員❼150日。

❶眞岡市街道路改良工事（眞岡郡眞岡町）❷アスファルト簡易鋪裝3,570平米、兩水桝42個所、人孔8個所、15糎管埋設407本❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻菊地技手❼120日。

❶本斗安別線久春內珍內間道路修繕工事（自久春內郡久春內村大字久春內字久春內至同郡三濱村大字珍內字珍內）❷不陸均123,200平米、砂利敷1,435立米碎石敷920立米、穴埋70立米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻直營、青木雇員❼120日。❸西海岸線久春內驛下車。

❶內路惠須取線惠須取豐里間道路砂利敷工事（自名好郡惠須取町大字惠須取字元町至同村字豐里）❷不陸均138,038平米、砂利及碎石敷7,192立米、輾壓108529平米、土羽修築5,475立米、自動車保護柵360米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻直營、齊藤技手❼200日❸西海岸線泊居驛下車、自動車にて惠須取に至る

❶珍內惠須取線布禮地內道路開鑿工事（名好郡惠須取町大字上惠須取字布禮）❷延長6粁580米、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻本宮技手、請負四日榮造氏❼180日。

❶珍內惠須取線珍內口第一工區道路開鑿工事（自久春內郡三濱村字珍內至鵜城郡鵜城村字來知志）❷延長5粁200米、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻勝田雇員、請負木口寅松氏❼150日。

❶內路惠須取線惠須取口第三工區道路開鑿工事（上惠須取地內）❷延長7粁014米、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻齊藤技手、請負佐々木勝造氏❼150日。

❶內路惠須取線惠須取口第四工區道路開鑿工事（上惠須取地內）❷延長12粁618米、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻新岡技手、請負佐々木勝造氏❼200日。

❶多蘭內大豐上流間第二工區道路開鑿工事（三鄕村大字多蘭內字多蘭內）延❷長4粁200米、造成幅4.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻青柳技手、請負木口寅松氏❼150日。

❶留多加蘭泊線逢坂富澤間道路改良工事（眞岡郡清水村大字逢坂字自富澤至逢坂）❷延長4粁、造成幅5.5米❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻佐藤技手、請負細谷兄弟商事合資會社❼150日。

❶留多加蘭泊線留多加二股間道路修繕工事（自留多加郡留多加町大字留多加字留多加至同町大字河西字南豐榮）❷砂利敷8,086立米、不陸均115,008平米、崩土取除360立米、下水浚渫400立米、輾壓12,146平米❸❹❺樺太廳土木課首藤技手直營、黑田雇員❼120日❸豐眞線二股驛下車、名所豐仙峽。

❶留多加蘭泊線清水村地內道路砂利敷工事（眞岡郡清水村大字二股字自瑞穗至二股）❷砂利敷7,502立米輾壓62,897平米❸❹❺樺太廳土木課首藤技手❻黑田雇員❼120日❸豐眞線清水驛にて下車。

橋梁

❶豐原市街玉川橋架換工事（豐原郡豐原町）❷混凝土T桁橋、徑間7米2連、有効幅員7.5米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻滿野土木助手❼150日。

❶大泊國境線崎川橋架換工事（敷香郡泊岸村大字泊岸字久茶一畝宮內）❷橋梁12米、有効幅員4米、密林伐開、疎林伐開、盛土、流用土❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻細川技手、請負四日榮造氏七120日

❶本斗安別線泊居大橋架換工事（泊居町字泊居）❷鐵筋コンクリートT桁橋、徑間44.02米、有効幅員7.3米、附帶護岸、舊橋取除運搬盛土❸❹❺樺太廳土木課奥平技師❻鈴木助手、請負寺崎治作氏❼180日。

下　水

❶豐原町下水管埋設工事（豐原郡豐原町）❷90糎管埋設410本、75糎管埋設381本、人孔16個所、砂利敷810立米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻勝山技手❼120日。

河　川

❶幌內川改修工事（自敷香郡敷香町大字敷香字多蘭川分岐點至下流幌內川筋）❷扇土取除9.000立米、水中掘鑿4,740立米、土留柵工1,200平米❸❹❺樺太廳土木課八卷技師❻佐藤雇員❼100日。

港　灣

❶武意泊船入潤改良工事（本斗郡好仁村字武意泊）❷防波堤築造延長60米、他掘鑿❸❼❺樺太廳土木課境技師❻岩淵技手❼昭和11年3月1日迄。

❶海馬島船入潤改良工事（本斗郡海馬村字字須）❷荷揚場護岸、埋築、掘鑿、防波堤修繕❸❹❺樺太廳土木課境技師❻原雇員❼昭和11年3月31日迄。

❶知取船入潤修築工事（元泊郡知取町）❷防波堤築造、機械器具工事❸❹❺樺太廳土木課境技師❻加藤雇員❼昭和11年3月31日迄。

❶知志谷船入潤修築工事（留多加郡能登呂村知志谷）❷防波堤256米、荷揚場築造工事、掘鑿10,658平米及埋築工事❸❹❺樺太廳土木課境技師❻林技手❼昭和11年3月31日迄❸留多加驛にて下車、自動車にて雨龍に至りそれより船にて知志谷へ。

❶江部船入潤修築工事（泊居郡泊居町唐緒字江部）❷荷揚場築造及埋築4,582.5平米❸❹❺樺太廳土木課境技師❻横尾雇員❼昭和11年3月31日迄。

❶久良志船入潤修築工事　野田郡野田町梅香）❷防波堤工事310米、荷揚場築造、埋築29,000平米及掘鑿工事❸❹❺樺太廳土木課境技師❻櫻庭技手❼昭和11年3月31日迄。

❶敷香港修築工事（敷香郡敷香町）❷護岸工事及機械器具設備❸❹❺樺太廳土木課境技師❻阿部技手❼昭和11年3月31日迄。

❶本斗港修築工事（本斗郡本斗町）❷防波堤127.27米浚渫及埋築工事❸❹❺樺太廳土木課境技師❻岩淵技手❼昭和11年3月31日迄。

❶眞岡港修築工事（眞岡郡眞岡町）❷防波堤工事110米、浚渫20,000立米、機械器具設備❸❼❺樺太廳土木課境技師❻太田技手❼昭和11年3月31日迄。

❶大泊港修築工事（大泊郡大泊町）❷岸壁護岸、浚渫及埋築工事、❸❹❺樺太廳土木課境技師❻鈴木技手❼昭和11年3月31日迄。

建　築

❶樺　廳拓植學校々舍新築其他工事（豐原郡豐北村小沼）❷校舍新築1,030.32平米、便所新築38.97平米❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻林技手❼200日。

❶樺太廳舍修繕工事（豐原町）❷廳舍修繕933,7平米❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻新井技手❼200日。

❶樺太廳中央試驗所溫室增築工事（豐原郡豐北村大字小沼中央試驗所構內）❷溫室增築58.32平米❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻貝塚技手❼150日。

❶樺太廳大泊支廳々舍新築其他工事（大泊郡大泊町）❷本廳舍656.10平米、附屬舍110.16平米、煙突1基❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻柳澤技手、請負佐々木三之介氏❼150日。

❶樺太廳イチヤン川孵化場孵化室新築其他工事（富內郡イチヤン川）❷孵化室71.28平米、事務所17.82平米、雇員官舍80.82平米、傭人宿舍48.60平米、倉庫32.40平米、養魚池❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻山本雇員、請負清水竹雄氏❼120日。

❶眞岡高等女學校寄宿舍新築其他工事（眞岡郡眞岡町）❷寄宿舍538.92平米、附屬屋194.40平米、便所及渡廊下22.68平米❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻榮技手、請負辻清太郎氏❼150日。

❶樺太廳農務課農具庫新築其他工事（豐原郡豐原町）❷農具庫246.24平米、機械工場162平米、油庫19.44

平米、事務所106.92平米❸❹❺樺太廳土木課石井技師❻秋本雇員、請負仙崎覺次郎氏❼120日。

北 海 道

港 灣

❶小樽築港工事（小樽築港驛より5，6丁にして事務所に達す）❷主要工事は防波堤及埠頭の築設で北防波堤1,200尺、南防波堤150尺、埠頭3基（幅70間、長160間乃至 71間）❸❹北防波堤及埠頭工事中で、埠頭工事は本年度から着手した❺北海道廳技師伊藤長右衛門氏❻北海道廳小樽築港事務所直營、技師檜山千里氏❼昭和16年度完成の豫定❽札幌市より汽車にて約1時間、郊外に定山溪溫泉あり。

❶函館港修築工事（事務所は函館市海岸町にあり）❷防波堤と埠頭の築設が主で西防波堤2,200尺、北防波堤3,600尺、埠頭2基（幅80間長170乃至200間）❸❹西、北防波堤工事中、埠頭工事は未着手❺北海道廳技師平尾俊雄氏❻函館築港事務所直營❼昭和17年度完成の豫定❽市外に湯ノ川及根崎溫泉あり又汽車凡そ1時間で大沼公園に至る。

❶室蘭築港工事（事務所は室蘭市祝津町にあり）❷防波堤長600尺、埠頭1基（幅80間長218間）❸❹目下防波堤工事中❺北海道廳技師平尾俊雄氏❻室蘭築港事務所直營、技師太田長四郎氏❼昭和16年度完成の豫定❽附近に登別及洞爺湖溫泉あり。

❶釧路築港工事（事務所は釧路市にあり）❷主として防波堤、港內浚渫、埠頭工事である。港內浚渫面積349,992坪、埠頭長240間❸❹防波堤及港內浚渫工事中❺北海道廳技師土谷實氏❻釧路築港事務所直營❼昭和16年度完成の豫定❽阿寒國立公園。

河 川

❶石狩川第一區治水工事（石狩國札幌郡江別町字對雁より下流石狩郡石狩町に至る區間）❷在來屈曲水路を切替へ延長3里18町餘の新水路を開鑿し、其兩岸に堤防を築き水路には護岸工事を施す。新水路開鑿工事土量3,540,000立坪、堤防延長6里19町、護岸工延長21,400間❸陸上掘鑿機10臺、機關車13臺、浚渫船2艘を設備せしも工事進捗に伴ひ現在掘鑿機1臺、機關車3臺、浚渫船1艘、其他軌條、土運車、曳船、小蒸汽船、土運船等❹新水路開通し兩岸堤防は8割竣功、護岸は約半を終る❺北海道廳技師保原元二氏❻札幌治水事務所直營施行❼明治43年度起工昭和15年度竣功の豫定❽函館本線江別驛下車徒步數町屬石狩川畔江別機械工場に至り同所より治水事務所專船に乘し下航石狩町に至り同所より札幌市に引歸す（バスの便あり）官幣大社札幌神社（札幌市圓山公園にあり）北海道帝國大學、札幌市より電車にて定山溪溫泉に至る。

❶石狩川第二區治水工事（石狩國札幌郡江別町字對雁より上流樺戸郡月形村に至る區間）❷在來水路の屈曲著しき個所は之を切替へ新水路を開鑿し其兩岸に堤防を築き、又水路には護岸工事を施すものとす新水路開鑿土量2,100,000立坪、堤防延長16里34町、護岸延長5,500間❸現在陸上掘鑿機6臺、機關車6臺其他軌條土運車等❹昭和9年度の起工にして新水路開鑿兩岸堤防築設等施行中❺北海道廳技師保原元二氏❻札幌治水事務所直營❼昭和15年度竣功の豫定❽函館本線岩見澤驛下車陸路約5里（バスの便あり）樺戸郡月形村に出で當所專屬船に便乘石狩川を下航（此區間約12里）江別町江別機械工場にて上陸更に徒步數町函館本線江別驛に接續す。

❶江別、名張、千歲川工事（空知郡幌向村字新クツタリより札幌郡江別町字江別太に至る區間）❷主として新水路掘鑿工事にして延長2里32町、新水路兩岸堤防延長5里28町、新水路取入口より上流1里18町新水路放水口より石狩川に沿ひ江別町に至る1里09町46間、江別夕張川兩岸堤防9里2町、❸鋤簾式陸上掘鑿機1臺、20噸機關車3臺、其他軌條土運車、❹

新水路掘鑿工事は77.7%、堤防工事は84.8%、竣功尙工事中❺北海道廳技師保原元二氏❻札幌治水事務所直營、❼大正9年度起工昭和15年度完成の豫定❽札幌市より汽車にて約40分江別町に至り更に30町にて現場に至る。

❶豐平川治水工事（札幌市より下流札幌郡篠路村に至る區間　❷主要工事は新水路掘鑿延長1里24町、左岸堤　延長4里32町、右岸堤防延長4里13町0間❸喞筒式浚渫船1艘、鋤簾式掘鑿機2臺20噸機關車2臺、其他軌條土運車❹新水路浚渫並に掘鑿工事は19.9%堤防工事は35.6%進行し尙工事中❺北海道廳技師保原元二氏❻札幌治水事務所直營❼昭和2年度起工昭和16年度完成の豫定❽札幌市より自動車約15分にて現場に至る。郊外に定山溪溫泉あり札幌市より電車約40分。

❶後志利別川治水工事、第一期（瀬棚郡利別村字今金より下流河口に至る區間）❷主要工事は川切替延長1里9町、兩岸堤防延長2里28町.2間❸小型土運車軌條❹川切替2個所竣功し尙工事中❺北海道廳技師保原元二氏❻札幌治水事務所直營施行❼昭和9年度着手同13年度完成の豫定❽汽車にて今金驗又は東瀬棚驗下車數分にて現場に至る。附近瀬棚海岸には三本杉の奇石あり。

東　北　地　方

道　路

❶福島國道改良工事——5號國道（自福島縣信夫郡中野町至山形縣南置賜郡萬世村）❷時局匡救並農村其他應急土木事業にして總工費50萬圓を以て昭和9年度より昭和11年に至る國道改良工事、隧道864米橋梁3個所111米、道路8,000米を施行する❸材料運搬線路延長5,500米(18封度軌條）動力用送電線路延長7,000米❹工程4割❺內務省仙臺土木出張所內務技師野瀨正人氏❻福島國道改良事務所直營❼昭和11年3月末竣功の豫定❽東北本線福島驛下車陸路約28粁奧羽本線米澤驛下車陸路約16粁、福島驛より東北約9粁に飯坂溫泉、電車、自動車の便あり。

❶盛岡市新田町路面鋪裝工事❷路面中央4.5米をシートアスファルト鋪裝し殘兩側は電柱其他錯立し側溝綾轉壓不可能なるためコンクリート鋪裝とす❸加熱式プラント❹路盤及測溝築造中❺設計岩手縣道路技手佐々木二郎氏監督岩手縣道路技手出井渡氏❻岩手縣道路技手出井渡氏、請負昭和工業株式會社❼昭和11年9月30日まで❽盛岡驛下車徒步7分、厨川棚（前九年の古戰場）盛岡高等農林學校、大慈寺（故原敬首相の菩提所）等あり、繫溫泉及小岩井農場まで約12粁

橋　梁

❶青森國道改良工事——青岩橋（岩手縣二戸郡金田一村——青森縣三戸郡留崎村地內❷時局匡救土木事業として總工費15萬圓を以て岩手青森兩縣を境する馬淵川に架する橋梁工事にして橋長189米、支間21 21米9連の鋼鈑桁、橋脚鋼構脚有、効幅員6米、橋高平均水面より桁下まで16.5米❸特記すべきものなし❹工程7割❺內務省仙臺土木出張所內務技師池田德治氏❻青森國道改良事務所直營❼昭和10年7月末竣功の豫定❽東北本線金田一驛下車北方陸路約3.5粁。

❶薄衣橋架設工事（岩手縣東盤井郡薄衣村彌榮村界北上川、府縣道）❷主徑間新月型繫拱徑間100米00高1米00、側徑間（18米＋27米＋18米）ゲルバー鈑桁、有効幅員6米00❸桁下水面まで14米餘、水深最大7米餘あるを以て足場組立法と鋼索組立法とを併用してゐる❹7月20日現在、組立中特別なる事由なき限り8月中に組立終了の見込❺岩手縣道路技師佐藤淸治氏❻岩手縣道路技手菊池正男氏、請負淺野造船所❼昭和10年9月❽東北本線一の關乘換大船渡線陸中門崎下車バス10分。一の關附近には平泉中尊寺巖美溪、隣村長坂村猊鼻溪。

❶廣表橋架設工事（岩手縣和歌郡江釣子村々道和歌川架設）❷ゲルバー式鐵筋コンクリート桁橋、24米60×6連、13米20×5連、12米20×2連❸足場組立法❹7月20日橋脚基礎井筒沈下中❺岩手縣道路技手清水則久氏設計、主任道路技師佐藤清治氏❻岩手縣道路技手遠藤清氏、請負白井組❼昭和11年3月❽東北本線黑澤尻乘換横黑線江釣子下車約1粁、和賀仙人溪流、黑澤尻の隣驛より20分にして花卷溫泉。

港灣

❶宮古港修築工事（岩手縣下閉伊郡宮古町）❷2,000噸級3隻同時繫留の繫船岸壁を主とする商港と宮古川口漁港とを併せ防波堤255米岸壁218米、護岸1,336米及浚渫埋立工事にして工費158萬圓❸函塊製作工場、浚渫船各種、起重機船土運船曳船2隻其他❹防波堤岸壁護岸、浚渫埋立等各工種共工事中なれど何れも殆んど竣工に近し❺岩手縣土木課田吹技師、加藤技師❻岩手縣直營、加藤技師❼昭和4年度より昭和11年度迄❽省線山田線宮古驛下車。

❶釜　港修築工事（岩手縣上閉伊郡釜石港　❷函塊式防波堤延長268米、岸壁492米、護岸280米、浚渫埋立其他工事にして事業費39萬4千圓外に津浪對策防波堤を3個年經繼事業として10年度より起工す❸函塊製作工場ブリストマン式浚渫船、11噸吊揚起重機船❹防波堤延長268米中60米を殘し護岸を完成し岸壁は全工事の$^2/_3$を了り浚渫埋立はポンプ船により目下工事中❺岩手縣土木課渡邊技師、小林技手❻岩手縣直營、小林技手❼自昭和7年度至昭和10年度❽省線盛岡、宮古、花卷又は大船渡より自動車又は岩手輕便鐵道遠野より自動車。

❶四倉港修築工事（福島縣石城郡四倉町北端）❷南防波堤260米、北防波堤320米、掩護面積6萬平方米今回浚渫面積約30,000平米、總工費44萬圓、水深—2.5～—3.0米❸浚渫船、方塊製作工場、事務所❹現在8割竣功❺設計農林省、監督福島縣土木課木村技師❻所長道路技手關根高次氏❼昭和11年3月30日❽常磐線四倉驛下車、名所波立藥師は本港より北方約10町❾工事中と雖も漁船の出入をなさしめ晝夜漁業盛なり。

❶中村港修築工事（福島縣相馬郡中村町、原釜海水浴場近く松川浦内）❷防波堤150米、導水堤180米、船入場約2萬平米、本港は導水堤に添ふて干潮時に松川浦内の水量を利用し航路の土砂を押流し水深を保たんとするものである❸浚渫船、方塊製作工場、事務所❹船入場分通完了1部目下浚渫中、防波堤導水堤共4分通竣成目下續工中❺福島縣土木課港灣係技師木村政衞氏❻所長土木技手窪田茂男氏❼昭和12年3月30日❽常磐線中村驛下車乘合自動車原釜行にて約10分、名所松川浦、原釜海水浴場❾總工費34萬圓

紀勢線建設工事

❶紀勢中線東第二工區土工其他工事（新宮成川間新宮起點自東0k496m至東1k400m、和歌山縣新宮市より三重縣南牟婁郡御船村成川地内に至る）❷工區始點は丹鶴城斷崖下にて直ちに熊野川橋梁（延長490米）にて對岸成川の丘陵に至り之を切開き殘餘の區間に築堤を施す、請負金額59,000圓❸動力受電設備工事用棧橋、材料器具の倉庫等を設けたるも現在は撤去せり❹橋梁及築堤工事は大體竣功し切取の殘部施工中❺設計鐵道省岐阜建設事務所田中技手、監督木俣技手❻株式會社間組現場主任楠目成威氏❼昭和8年12月7日着手昭和11年2月16日竣功❽紀勢東線尾鷲を徑て成川に至る、速玉神社、飛鳥神社、蓬來山神倉山、神宮城跡、徐福の墓、浮島の森、貯木場、新宮川口、熊野大橋、井田八丁松原❾名物として木材、那智黑硯、紙、プロペラー船あり熊野川の鮎鰡釣、筏流。

❶紀勢中線第二工區土工其他工事（新宮起點自22粁00米至29粁880米、下里田原間）❷切取約156,000立米、築堤約151,000立米、土留石垣5,600平米、防波擁壁混凝土約4,400立米、基礎混凝土1,600立米、橋

梁9個所延長324米、溝橋9個所、隧道1個所延長324米、海岸防波擁壁延長1粁あり、田原川橋梁は地質軟弱のため中空橋脚とし基礎杭打とす、請負金額299,000圓❸省略❹現在出來高93%❺鐵道省岐阜建設事務所技手堤巖氏❻株式會社間組現場代人植目成威氏❼昭和8年4月3日着手、竣工は昭和9年9月2日、10年7月17日、同30日、同8月29日❽大阪天保山又は神戸にて大阪商船により古座にて下船それより自動車又は紀伊椿停車場まで汽車それより串本を徑て自動車、勝浦方面よりの場合は勝浦より巡航船及自動車陸路は紀勢西線紀伊椿驛下車それより自動車。浦神港は海水深く灣入し好適の避泊地なり、浦神以東を奥熊野と呼び字窟(イワヤ)に蟲喰岩あり。玉ノ浦は風景佳く磯邊の岩石中より玉石と呼ぶ圓形黑質にして鷄卵大の石を産し床の置物として珍重せらる❾本區間に浦神、田原の二停車場あり。

❶紀勢中線第四工區土工其他工事(新宮起點自33粁220米至36粁300米津荷、西向間)❷築堤91,100立米切取71,100立米、橋梁4個所、溝橋5個所、隧道個所延長187米、停車場は西向町地内の古座停車場にして田原停車場より5粁977米、串本停車場より6粁746米なり。津荷川橋梁は延長43米02(徑間12.9米×2、16米0×1)にして橋臺及橋脚の高さ13米餘何れも鐵筋混凝土造、古座川橋梁は延長264米13(徑間9.8米×1、19.2米×12、16.0米×1)にして内橋脚12本高さ8米〜12米は何れも鐵筋混凝土造にして基礎根掘は箱枠沈下杭打工により施工、請負金額167.000圓❸古座川橋梁根掘はオレンヂ・ピールを使用動力は電力❹85%の出來高❺岐阜建設事務所技手佐藤二郎氏❻合資會社下田組現場主任岡田貞治氏❼昭和9年6月18日着手、昭和10年8月17日竣功❽陸路紀勢西線紀伊椿下車自動車、海路は大阪又は神戸發串本又は古座上陸自動車、古座町海岸より海上約2粁に九龍(クロ)島あり熱帶植物谷渡を産す。

❶紀勢中線第五工區土工其他工事(新宮起點自36粁30.0米至42粁800米西向串本間)❷工區延長6粁500米請負金額103.000圓及88,500圓、線路は概れ平坦なる海岸を略縣道と平行して走るものにして大なる建造物なく坦々たる線路にして只隧道前後に急勾配を有するのみ、全區間に亘り橋梁及溝橋は凡て鐵筋混凝土桁を架設す、切取54,000立米、築堤53,000立米、橋梁總延長4米、隧道總延長63米❸省略❹約8割の出來高❺岐阜建設事務所技手田中武夫氏❻請負木下新太郎氏現場主任石田四郎氏❼昭和9年8月6日着手昭和10年9月15日竣工❽串本町に至る順路西紀勢線椿驛より陸路自動車約3時間海路は大阪天保山桟橋より急行船にて約12時間當工區は殆んど全工區自動車上より望見せらる。潮岬は本州の最南端にして無線電信局、燈臺、海軍飛行場等あり、大島は串本の東約2粁にあり捕鯨會社、京大亞熱帶植物園、燈臺がある。姫松原は工區の中央附近にあり景勝の地にして姫石を産す。

❶西紀勢線第十八工區土工其他工事(和歌山起點自126粁340米至129粁710米、松ノ本周參見間)❷土工切取約13 000立米、築堤約41,000立米、請負金額93,000圓。周參見川橋梁(9米8×5=51米44下路鈑桁)第二太間川橋梁(6米70×3=21米、桁及下部構造共に鐵筋混凝土 第三太間川橋梁 6米×4=25米35、I型桁なるも桁及下部構造共鐵筋混凝土に設計變更の豫定)坊地川橋梁(8米20×2=17米01下路鈑桁)と第一周參見隧道(延長83米)第二周參見隧道(延長171米)が主なる工事❸省略❹約20%の出來高❺岐阜建設事務所技手進藤晋氏❻株式會社鴻池組現場代人菊地武義氏❼昭和10年2月3日着手昭和11年8月2日竣功❽紀勢西線紀伊椿下車それより自動車約1時間順路は第17工區の安宅隧道貫通せば(7月中の豫定)便ならんも現在は當工區の中央部周參見川橋梁より始點に向ひ(此間約2粁1)再び中央部に引返し終點に至る(此間約1粁3)を便とす。

❶西紀勢線第十七工區土工其他工事(和歌山起點自122粁540米至126粁340米、日置松ノ本間實延長3粁800米)❷切取21,900立米、築堤52,100立米、隧道掘

鑿34,800立米にして請負金額353,600圓、隧道費81%土工費15%、溝橋2%、橋梁及伏樋費各1%にして主要工事は安宅隧道なり、その延長1K280米（自124K100m至125K380）勾配は1000分の20上り、125K060より1000分の2の下り勾配、地質不良にして施工困難なり❸安宅隧道和歌山方（坂本地内）（1）動力室・重油機關新潟鐵工所製100馬力1臺、75馬力1臺、空氣壓縮機インガーソルランド製容量446立方呎毎分1臺、同327立方呎／毎分1臺、（2）鍛冶工場（木造平屋鐵板葺47平米1棟）手鞴1、金敷（20貫及30貫）2、コークス爐（1.4米×1.4米壓搾空氣使用）1、ドリルシャープナーサリバンクラスA型）1、オイルフアーネス（NKS式7本燒）1、燒入槽1、ダイス2、ビツトドリー4組、エヤーグラインダー1。（3）疊築用足場・インクライン勾配1/5延長55米、坑内吊足場單線延長380米逐次延長、捲揚機（5噸捲10馬力電動機付）1、（4）混凝土練場及碎石場・ミキサー練上4立方呎5馬力電動機付1、ブレーキクラツシヤー10吋×7吋10馬力電動機付1、（5）貯水池1、（6）砂利貯藏場1、❹安宅坂隧道和歌山方（入口）掘鑿底設導坑（2.8米×2.3米）地質は硬砂岩にしてドリフター N75を2臺使用し孔數16、孔深1.8米、ダイナマイト60本＝15kg、導火線32米、雷管16個にて1日平均進380米掘鑿をなし底設導坑905米、中割737米、頂設620米、丸形582米、大背524米、土平488米進行、頂設以下の切擴は全部支保工施行を要し、礫出は木製トロリー平均20臺20回往復にて坑外土捨場に手押にて運搬しつゝあり。疊築工は掘鑿に關係なく吊足場を使用し12米乃至15米を側壁1日、拱2日計3日にて1回分を了り5月より休電を除き連日施行しつゝあり現在出來高390米の進行にして出働人員平均250人❺岐阜建設事務所技手吉村守氏❻東海工業合資會社現場代人山口勇太郎氏❼昭和9年2月7日着手昭和11年3月6日竣功❽紀勢西線終點紀伊椿驛下車椿溫泉迄約2粁バスの便あり。

❶西紀勢線第十六工區土工其他工事（和歌山起點自119K600米至122m540米、田野井日置間實延長2m940米）❷田野井隧道は延長424米地質頁岩の肌目に粘土を含めるもの多く全部枝梁式支保工を用ふ平均進行40糎なり　日置川橋梁は延長326米76あり和歌山方に9米80の下路桁を架して縣道を跨り19米20上路桁16連にて日置川を渡る、橋脚は鐵筋混凝土の特殊設計にして其高さの約半を地盤下に入れ最高のものは基礎面より桁下まで13米50基礎施工は箱枠沈下水中混凝土とす、地質は基礎盤にて細砂なり。箱枠は5米×6米×高6米のもの3個使用、4才搗みのカツト15馬力ウウイ　チ付2臺にて掘鑿し1日平均下り0米30、1ヶ月間に1脚出來上りの豫定❸省略❹田野井隧道は完成し日置川橋梁は橋脚16個の内5個の基礎混凝土を殘すのみ。土工其他は完成に近し❺岐阜建設事務所技手吉村守氏❻西本組現場主任中原市太郎氏❼昭和9年4年2日着手昭和11年3月1日竣功❽紀勢西線終點紀伊椿驛下車約　粁、自動車の便あり。交通便は田邊周參見間1日2回の定期船あり。

❶西紀勢線第十五工區土工其他工事　和歌山起點自16K240m至119K600米朝來飯田野井間延長3K360米❷切取數量28,5 4立米築堤8 ,468立米橋梁2個所延長25米8、溝橋3個所伏樋12個所、隧道2個所延長1K494m、使用セメント40,554袋、用地36,100平米、當初請負金額403,500圓、烏賊坂隧道は延長1K286m、20/1000の片勾配にして田野井方（出口）より機械掘施行❸請負人現場假倉庫5棟、飯場18棟、材料運搬軌道田野井方1K760m、朝來飯方1K500m、ホイツトカム（4.5）2輛使用、❹工事は順調にして5月末日の出來高0.661、土工0.6 0橋梁0.514、隧道0 563にして烏賊坂隧道兩口とも吊棧橋による疊築工施行中、12月完了の見込なり。溝橋0.537の出來高❺岐阜建設事務所技手高橋一郎氏❻西本組現場主任中原市太郎氏❼昭和8年11月2日起工昭和11年3月1日竣工❽西紀勢線紀伊椿驛より日置、田野井間乘合自動車の便あり、紀伊椿驛より2粁をへだてゝ椿溫泉（硫黃泉）あり。